

現 行（第 2 期 教 育 大 綱）

基本理念 子どもの夢に寄り添い 「生き抜く力」を育む 周南の教育

基本方針①道徳教育や幼児教育の充実を柱とした「豊かな心」の育成

推進方向 1：道徳教育の充実⇒**推進方向 1：豊かな心の育成**
推進方向 2：幼児教育の充実⇒**第 1 期周南市こども計画（R7～11）へ**

基本方針②「確かな学力」「健やかな体」の育成

推進方向 3：確かな学力の育成⇒**推進方向 2：確かな学力の育成と推進方向 4：きめ細かな支援体制の充実に分割**
推進方向 4：健やかな体の育成⇒**推進方向 3：健やかな体の育成**

基本方針③コミュニティ・スクールの充実

推進方向 5：コミュニティ・スクールの充実⇒**推進方向 7：地域とともにある学校づくりの推進**
推進方向 6：地域学校協働活動の充実⇒**推進方向 8：学校を核とした地域づくりの推進**
推進方向 7：青少年の健全育成⇒**推進方向 9：青少年の健全育成**

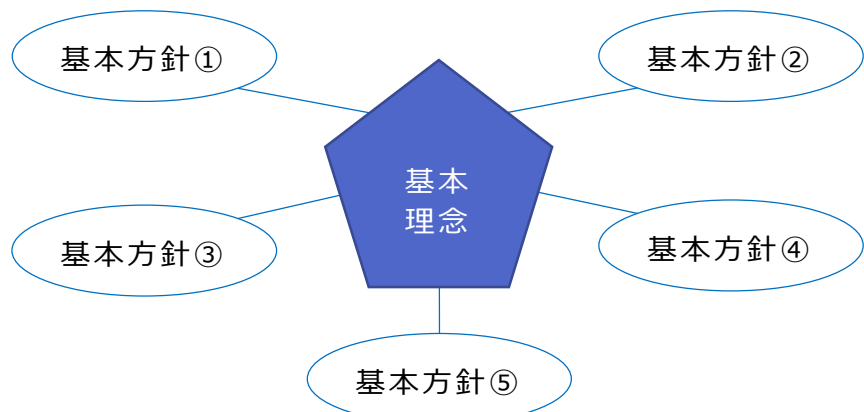
基本方針④信頼と期待に応える教育環境の充実・整備

推進方向 8：児童生徒の『生き抜く力』を育成する生徒指導体制の充実と教職員の人材育成
⇒**推進方向 2：確かな学力の育成と推進方向 5：望ましい教育環境の充実・整備に分割**
推進方向 9：望ましい教育環境の充実・整備⇒**推進方向 5：望ましい教育環境の充実・整備**
推進方向 10：安心・安全な学校給食の提供⇒**推進方向 6：安心・安全な学校給食の提供**

基本方針⑤いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現

推進方向 11：生涯学習活動の推進⇒**推進方向 10：生涯学習活動の推進**
推進方向 12：生涯にわたり、スポーツ活動に親しむ環境の整備⇒**第 2 期周南市スポーツ推進計画（R7～11）へ**
推進方向 13：文化芸術活動の推進⇒**周南市文化芸術振興プラン（R7～11）へ**
推進方向 14：文化財の保護と活用⇒**周南市文化芸術振興プラン（R7～11）へ**
推進方向 15：読書が育むひとづくり・まちづくり⇒**推進方向 11：図書館の充実と読書活動の推進**
推進方向 16：人権教育の推進⇒**推進方向 12：生涯を通じた人権教育の推進**
推進方向 17：まちづくりを担うひとづくり⇒**推進方向 10：生涯学習活動の推進に統合**

■ **教育大綱イメージ**
5 つの基本方針を軸として基本理念の実現に向けて事業を展開する



● **基本方針 5⇒3**
● **推進方向 17⇒1**

次 期（第 3 期 教 育 大 綱）

基本理念 ふるさと周南に愛着をもち 力強く未来を生き抜くこどもを育む 周南の教育

- ◆ ふるさと教育の大切さ
 - ・ 次代の担い手となるこどもたちが地域の良さを知り、ふるさとに愛着をもつ
 - ・ いろんな地域課題を自分事として捉えてほしい
- ◆ 「生き抜く力を育む」から「力強く生き抜くこどもを育む」へ
 - ・ 「生き抜く力」を育むことは大前提であるが、変化の激しい社会・未来を生き抜くこどもたちを学校・家庭・地域（社会全体）で育てていく（取り組む）
- ◆ 現大綱の理念はしっかりと踏襲する（説明文の中で）

基本方針①未来を主体的に「生き抜く力」を育む教育の推進

推進方向 1：豊かな心の育成
推進方向 2：確かな学力の育成
推進方向 3：健やかな体の育成
推進方向 4：きめ細かな支援体制の充実
推進方向 5：望ましい教育環境の充実・整備
推進方向 6：安心・安全な学校給食の提供

Point！

ソフト・ハードを含めた「学校教育の充実」により「生き抜く力」を育む！
⇒学校から児童生徒への直接的なアプローチ

基本方針②学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進

推進方向 7：地域とともにある学校づくりの推進
推進方向 8：学校を核とした地域づくりの推進
推進方向 9：青少年の健全育成

Point！

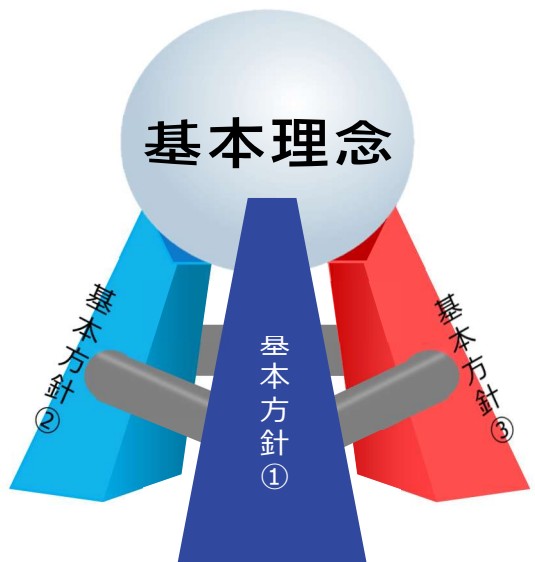
「家庭」と「地域」も教育において重要な役割をもつことを明示化！
⇒家庭・地域から児童生徒・学校を支えるアプローチ

基本方針③いきいきと学び続ける生涯学習社会の推進

推進方向 10：生涯学習活動の推進 ※まちづくりを担うひとづくりを包含
推進方向 11：図書館の充実と読書活動の推進
推進方向 12：生涯を通じた人権教育の推進

Point！

生きていく上で、学び続けることは大切。大人がいきいきと学んでいる姿をみて、学びの楽しさの共有。さらに、学んだ成果を発揮し地域に還元することが重要。
⇒児童・生徒・学校・地域を支える人を増やす・繋いでいく原動力となる社会の実現



■ **教育大綱イメージ（作成中）**
基本理念（児童生徒の育成）を支える 3 つの柱（基本方針①②③）柱同士も双方向に支え合い調和のとれた状態を理想とする。